1.		<b>务事業評</b> 何	ш > —	· otima	₹施年度: 平成2	29年度	<u></u>		5Ⅲ-4-5 6保全の推進			
	事務事	事業の目的・	・概要		事務事業担当課長	環境	竟政策課長	\池 誠	電話番	号 08	52-22-53	45
	事務事	業の名称	環境影	響評価制度	<b>E推進事業費</b>							
_	(1) x	対象	事業者									
目内	(2) 頹	(2)意図 大規模事業の実施に係る環境影響の回避・低減を図										
事業既要	環境影響	響評価法及び島	根県環境影	響評価条例に基づ	き環境影響評価手続き	きを行う。						
2.	成果参	多考指標				_						
_			成果参	考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
	指標名 環境影響評価手続適正実施率 式。 商正手続件数/手続実施件数×100			施率		目標値 取組目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%
1				生数×100		実績値	100.0	100.0				
_	定義	KELJ WILL SA/ J WINNELL SA/ 100				達成率	100.0	100.0	_	_	_	%
	指標名					目標値 取組目標値						
2	式•					実績値						
	定義					達成率	_	_	_	_	_	%
3.	事業費	t					4.改善策	の実施状況	兄			
					今年度計		   前年度の課題を踏まえた   ①順調に進んでおり課題がないため検討し					すして
					735	796 796	改善策の実施状況 ない					
		<b>火</b> があったこと 正に実施された。		nたこと)	7.まだ残っ ①困っている		夏(現状の何	Jをどのよう	とのである。	必要があるの	のか)	
					特になし				, icax 5 0.			
					②困っている	状況が発生し	ている「原	因」	<b>V</b>			
					<b>②困っている</b> 特になし	状況が発生し	⁄ている「原	因」	<b>V</b>			
								因」	V			
	今徑	<b>孙方向性</b> (	「課題に ノ*	かような古向性:	特になし <b>③原因を解消</b>	するための「		因」				